

広島県支部 第25期定時総会開催報告

広島県支部は6月21日（日）広島電鉄本社茶室において、支部会員21名の出席のもと第25期定時総会を開催した。

総会では、第25期事業報告並びに収支決算報告及び会計監査報告の件、第26期事業計画及び収支予算の件が上程され、いずれも原案通り承認された。



【第25期定時総会】

来賓として、同志社大学法学部濱真一郎学部長、同志社大学政法会大槻哲彦会長、長島明子副会長、組織委員会鈴木誠委員長をお迎えした。



【同志社大学政法会 大槻哲彦会長】

総会に先立ち大槻哲彦会長に挨拶をいただいた。また、政法会30周年にあたり記念事業として地方支

部交流会の実施についてのお知らせ、寄付ならびに協賛広告の募集のお願いがあった。



【同志社大学法学部 濱真一郎学部長】

総会後には、濱真一郎学部長に「現代正義論と価値多元論の可能性」と題してご講演いただき、大変興味深く拝聴した。

今回の総会では、1978年10月まで京都市内を走っていた元京都市電にスポットを当てる企画を立案した。



【広島駅にて】

リニューアルされた広島駅の路面電車乗り場に集合。貸し切り電車で広島電鉄本社まで30分ほどかけて移動。我々が乗ったのは、1979年から広島市内を走り続ける13両のうちの1両、1907号車の「銀閣」だ。広島電鉄さんの粋な計らいで三つ葉のクローバーのヘッドマークを付けていただいた。広電さん、ありがとう！



【三つ葉のクローバーのヘッドマークをつけた
1907号車「銀閣」】

広島電鉄の本社に到着後、車庫で様々な電車を見学。原爆投下後3日後から広島市内を走り始めた被爆電車や神戸、大阪、鹿児島などから来た電車が並んでいた。広島電鉄は走る路面電車の博物館として全国の“鉄っちゃん”たちの間では有名なのだ。



【被爆電車など多彩な電車が並ぶ】

電車を見学した後に本社1階にある上田宗箇流の茶室の会議スペースで総会を開催した。その後に懇親会を開催。懇親会の会場は広島市内を走る電車、広島電鉄の特別電車「トランルージュ」だ。広電本社から広島市中心部の紙屋町、原爆ドーム前、平和大通りを通って西広島駅で折り返し、広島駅までお

よそ1時間半あまり。狭い社内なので皆より親密に話が出来た。また、見知らぬ沿道の人が手を振ってくれて嬉しかった。



【懇親会を行った「トランルージュ」】



【「トランルージュ」車内での様子】

慌ただしくも楽しいひと時ではあったが、総会、懇親会は広島電鉄さんの協力のもと盛会のうちにお開きとなった。みなさん、お疲れ様でした。

